

Facility Tour Sorin Canada

2015/7/20-21

- Presentation & Discussion by Dr. Wang @ Sheraton Vancouver Wall Center Hotel -



Dr. Shaohua Wang
University of Alberta Hospital
Edmonton, Alberta, Canada
Alberta大学病院では年間
1300~1400例のOPを実施
150例のSOLOと75例の
Percevalの植え込み経験あり



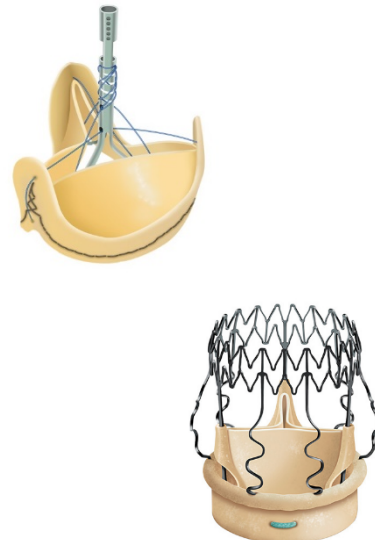
旭川医科大学の紙谷 寛之先生と一緒にした

< Freedom Solo (Stentless valve) >

- Soloは特別な手技が必要なデバイスであるが、implantationは、David5をイメージすればわかりやすい (縫合は 4-0PPP、RB-1)
- 主な適応はASで70-80歳代
- 多くは25mmと27mm 19mmはほとんどない
- Dr.Wangの適応外
 - ① 石灰化が弁輪まわりに広範囲にわたっている場
 - ② 二尖弁 (バルサルバが3つないもの)
 - ③ Sinusがでかすぎる人

< Perceval (Sutureless valve) >

- 適応
 - ①大動脈基部の石灰化 Sutureを避けたい
 - ②基部置換の再手術時 Bentallの再手術等
 - ③狭小弁輪 弁輪拡大を避けたい
- 利点
 - ①遮断時間の短縮
 - ②価格面 (特にTAVIとの比較にて)
 - ③現在のステント生体弁より血行動態はよさそう
 - ④今後AVRの主流 ??



Facility Tour Sorin Canada

2015/7/20-21



- Canadaの工場は、2004年より現工場が稼働
全世界に向け Valveが製造(イタリアの工場でも製造)
- 工場長のJennさんより、SorinGroupについての話
1960年代後半からPyrolytic Carbonの供給よりスタート いくつかの企業買収を得て2003年よりSorinGroupに統合された
Sorin製品は、全世界100か国以上で使用されている
Sorin名称の由来は、Societa Ricerche Impianti Nucleari(イタリア語で原子力研究所の意)の頭文字から 機械弁の材料である Pyrolytic Carbonは、原子力の研究からスタートし、医療分野に応用されたもの。
- 工場見学前、Crown, Percevalの製造デモンストレーション
製造しているスタッフによるデモンストレーション
生体弁は、ほとんどがスタッフによる手作業による製造で、熟練したスタッフのテクニックは非常に優れたものである
PercevalではCollapserを使いPercevalの実施経験
- 工場見学では、Sorinスタッフが各工程毎に詳細説明
実際のラインを窓越しに見学できるよう設計されている
新人教育(通常6か月)用の人工弁があった
出荷前検査は100%であり、クオリティーが徹底されていた

Tomoki Shimokawa